安寿 あんじゅ

レンタル事業者様向け

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車　リトルターン　抑速付
部品交換マニュアル

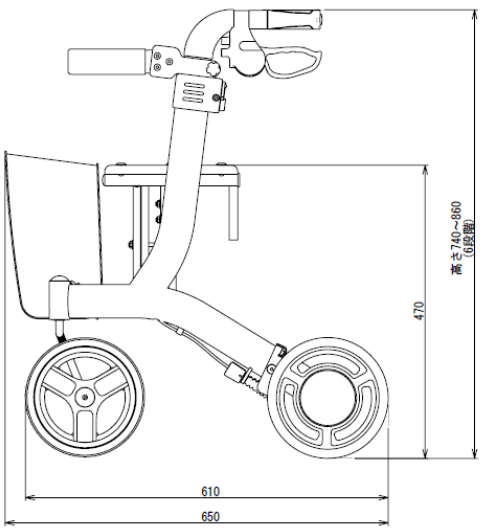
この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。
なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

※　部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

必要工具

六角レンチ	：	2mm 3mm 4mm×2本 5mm
ソケットレンチ	：	13mm 19mm
スパナ		10mm
プラスドライバー	：	2番
マイナスドライバー	：	2番
ラジオペンチ		
ワイヤーカシメ工具		



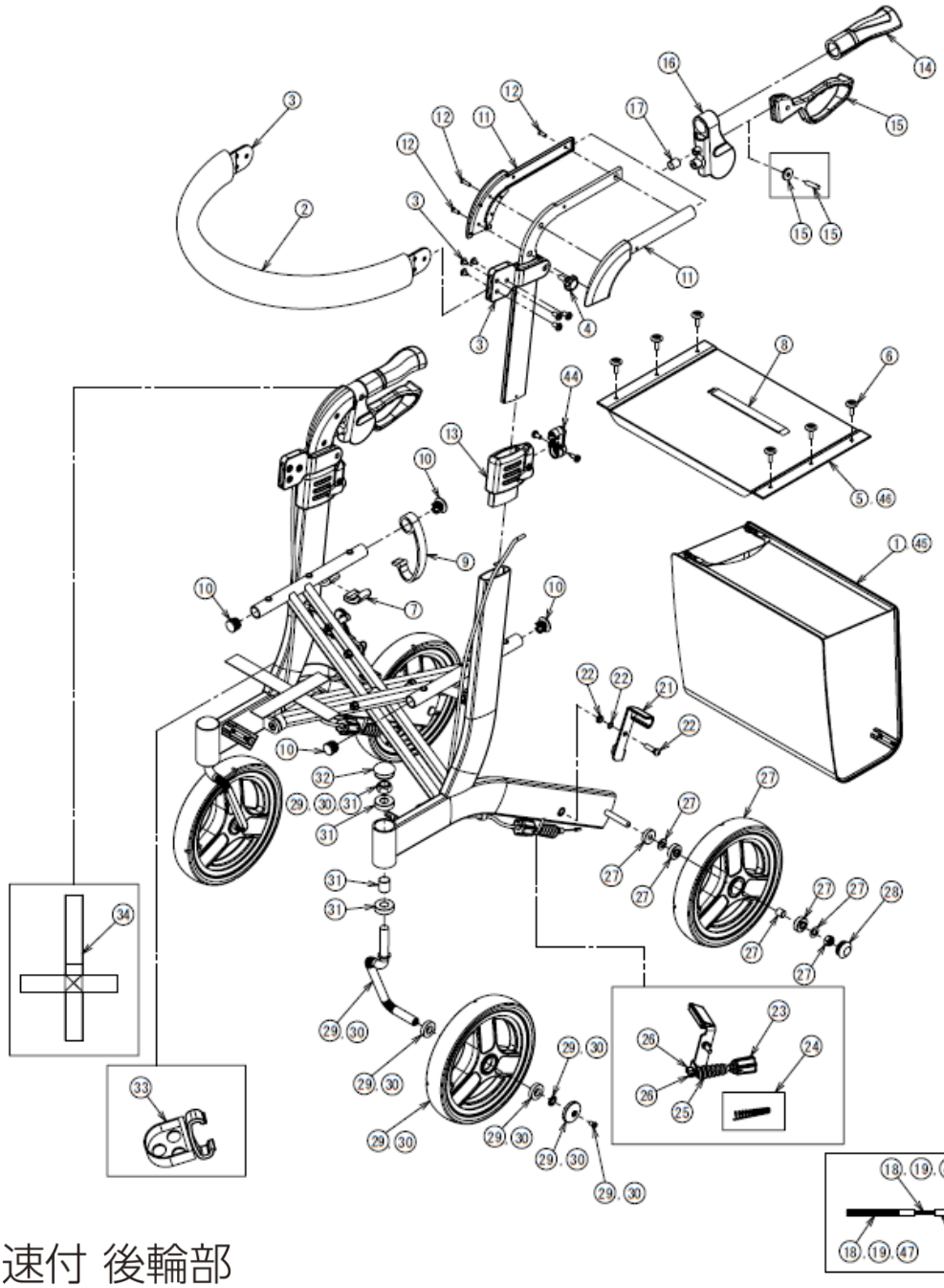
もくじ

部品リスト	1～4
①各部の交換方法	5～26
1. バッグの交換方法	… 5
2. 姿勢保持ベルトの交換方法	… 6
3. 座面の交換方法	… 7～8
4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法	… 9～16
5. 抑速付後輪部の交換方法	…17～24
6. 前輪の交換方法	… 25
7. 杖ホルダーの交換方法	… 26
8. 杖固定ベルトの交換方法	… 26
②フレームの補修方法	27
③交換後の点検	27
④ブレーキの調整	28
⑤シールの貼付位置	28
注意事項	29

部品リスト

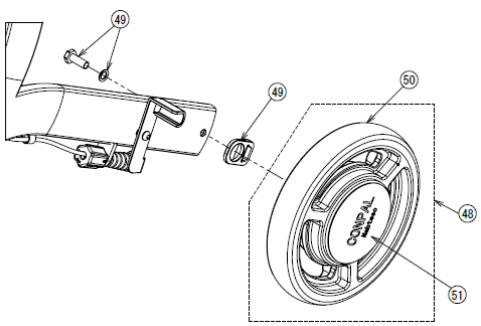
●歩行車　リトルターン（L、H、トール103タイプ、抑速付）

※部品リストには、抑速付には使用しない部品の記載もありますので、ご注意ください。

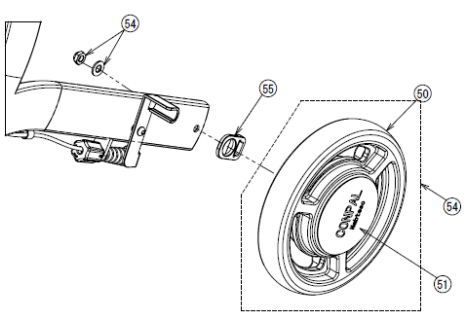


●抑速付 後輪部

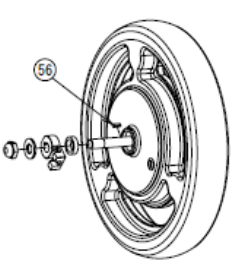
＜M6タイプ＞



＜M8タイプ＞



＜M6・M8タイプ共通＞



部品リスト

部品リスト（全　53点）

No.	部品名	製品コード	価格（税抜き）	備考
1	バッグセット（バッグ・スライド金具）(H・L用)	591952	6,300円	
2	姿勢保持ベルトカバー	591953	2,600円	
3	姿勢保持ベルトセット（ベルト・ベルト固定ナット・基部）	591954	4,200円	
4	姿勢保持ベルト固定ノブボルト×２	591955	3,300円	
5	座面	591956	4,800円	
6	座面固定ボルト×６	591957	1,900円	
7	座面受けカバー	591958	3,300円	
8	折りたたみベルト	591999	2,500円	
9	折りたたみ保持フック	591960	1,800円	
10	シートパイプエンドキャップ（前×２、後×２）	591961	1,500円	
11	ハンドル基部（左右セット）	591962	3,600円	
12	ハンドル基部固定ネジセット（長×２、短×４）	591963	1,800円	
13	ハンドルポスト受けセット（高さ調節スイッチ機構一式含む）	591964	2,900円	
14	ハンドルグリップ（反射板含む）	591965	2,200円	
15	ブレーキレバーセット（ブレーキレバー・リール・固定ピン）	591966	2,500円	
16	ブレーキ基部（左右セット）	591967	3,600円	
17	ブレーキ基部キャップ×２	591968	2,000円	
18	ブレーキワイヤーセット（ワイヤー・ワイヤーチューブ）（H）	591969	2,100円	
19	ブレーキワイヤーセット（ワイヤー・ワイヤーチューブ）（L）	591970	2,100円	
20	ブレーキワイヤー端部キャップ	591971	1,900円	
21	ブレーキ板（左右セット）	592210	2,400円	
22	ブレーキ板固定ボルトセット	591973	1,500円	
23	ブレーキ調節ネジ（内蔵バネ含む）	591974	1,500円	
24	ブレーキバネ	591975	1,500円	
25	ブレーキバネカバー	591976	1,500円	
26	ブレーキ固定ソケットセット（ソケット・ソケットネジ）	591977	1,900円	
27	後輪セット（ホイール・タイヤ・スペーサー・ベアリング×２・ベアリング間スペーサー・後輪固定ナット）	591978	2,600円	
28	後輪キャップ	591979	1,500円	
29	前輪セット（右）（ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット）	591980	3,700円	
30	前輪セット（左）（ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット）	591981	3,700円	
31	前輪フォークベアリングセット（ベアリング×2・前輪フォーク固定ナット・カラー）	591982	2,000円	
32	前輪フォークキャップ	591983	1,500円	
33	杖ホルダー	591984	1,900円	
34	杖固定ベルト	591985	1,500円	

次ページに続く

部品リスト

部品リスト（つづき）

No.	部品名	製品コード	価格（税抜き）	備考
35	ブレーキ・駐車ロックシール左右10枚入り	592000	1,700円	※
36	ブレーキ調節表示シール10枚入り	592001	1,700円	※
37	指はさみ注意シール10枚入り	592002	1,700円	※
38	(LT・ST)フレーム前方保護シール10枚入り	592003	1,800円	※
40	高さ調節解除シール左右10枚入り	592005	1,800円	※
41	ブレーキ指はさみ注意シール左右10枚入り	592006	1,700円	※
42	補修用スプレー	592270	11,600円	※
43	補修用ペイント（タッチペン）	592271	5,200円	※
44	高さ調節ボタンセット10個	592272	9,300円	※
45	バッグセット（バッグ・スライド金具）(トール用)	592305	7,000円	
46	座面（トール用）	592308	5,300円	
47	ブレーキワイヤーセット（ワイヤー・ワイヤーチューブ）（トール用）	592309	2,400円	
48	LT抑速付（M6）抑速ユニット左右セット （抑速付後輪　右用・左用）	592325	33,600円	
49	LT抑速付（M6）接続ジョイントセット1台分 （ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄ・ばね座金・ｽﾍﾟｰｻｰ付ﾅｯﾄ　各2個）	592326	3,300円	
50	LT抑速付交換タイヤキット1台分 （タイヤ2本・M8皿ボルト6本）	592331	11,600円	
51	LT抑速付センターキャップ	592332	2,900円	
52	LT抑速付M8皿ボルトセット（M8皿ボルト3本　片輪分）	592333	2,200円	※
53	LT抑速付抑速ブレーキ力調整用六角レンチ	592334	2,100円	※
54	LT抑速付（M8）抑速ユニット左右セット （抑速付後輪　右用・左用）	592335	37,000円	
55	LT抑速付（M8）タイヤジョイント1台分 （ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄ2個）	592336	3,700円	
56	LT抑速付抑速ユニットシャフトキー	592337	2,500円	
57	補修用スプレーR	592278	12,000円	※
58	補修用ペイントR（タッチペン）	592279	6,100円	※

上表　備考欄に※印がある部品は図示していません。
リトルターン（L/H/トール103）と共通のリストであるため、下表の部品は
リトルターン抑速付には使用しない部品ですので、部品交換の際はご注意ください。

リトルターン抑速付には使用しない部品のリスト

No.	部品名	製品コード	価格（税抜き）	備考
19	ブレーキワイヤーセット（ワイヤー・ワイヤーチューブ）　（L）	591970	2,100円	
27	後輪セット（ホイール・タイヤ・スペーサー・ベアリング×２・ ベアリング間スペーサー・後輪固定ナット）	591978	2,600円	
28	後輪キャップ	591979	1,500円	
45	バッグセット（バッグ・スライド金具）　（トール用）	592305	7,000円	
46	座面　（トール用）	592308	5,300円	
47	ブレーキワイヤーセット（ワイヤー・ワイヤーチューブ）　（トール用）	592309	2,400円	

部品リスト

抑速ユニットは本体の購入日によって取り付けできる部品が異なりますので、
下記を参照し、お買い求めください。
また、『LT抑速付（M6）抑速ユニット左右セット』に『LT抑速付（M8）タイヤジョイントセット1台分』
及び、『LT抑速付（M8）抑速ユニット左右セット』に『LT抑速付（M6）接続ジョイントセット1台分』
の部品で取り付けることができませんので、部品購入の際はご注意ください。

No.	部品名	M6タイプ	M8タイプ
48	LT抑速付（M6）抑速ユニット左右セット （抑速付後輪　右用・左用）	●	×
49	LT抑速付（M6）接続ジョイントセット1台分 （ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄ・ばね座金・ｽﾍﾟｰｻｰ付ﾅｯﾄ　各2個）	●	×
54	LT抑速付（M8）抑速ユニット左右セット （抑速付後輪　右用・左用）	×	●
55	LT抑速付（M8）タイヤジョイント1台分 （ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄ2個）	×	●

●部品判別方法

本体のクロスバーに貼り付けている品番・品名・JANシールを確認してください。

※リトルターンハイタイプから抑速付に
変更する場合も、以下の内容と同様に
品番・品名・JANシールの●の有無にて
ご判断ください。

品番・品名・JANシール

品番の右側に印がない場合

⇒ **M6タイプ**

592325　LT抑速付（M6）抑速ユニット左右セット
592326　LT抑速付（M6）接続ジョイントセット1台分　　をお買い求めください

品番の右側に印がある場合

品番の横に白または赤印

⇒ **M8タイプ**

592335　LT抑速付（M8）抑速ユニット左右セット
592336　LT抑速付（M8）タイヤジョイント1台分　　をお買い求めください

①各部の交換方法

1. バッグの交換方法

1）折りたたみベルトを上方向に引っ張り、本体を軽く閉じます。

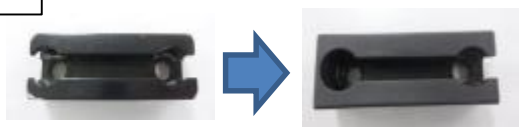
2）バッグを斜め上方に向けてスライドさせるように引っ張り上げます。

3）新しいバッグの側面にあるスライド金具を本体前部のガイドに差し込みます。

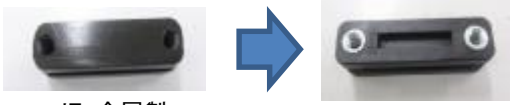
交換部品：1．バッグセット（バッグ・スライド金具）（H・L）

※2019年9月よりガイドとスライド金具について
仕様変更しています。（**新旧の互換性はあります**。）

ガイド



スライド金具

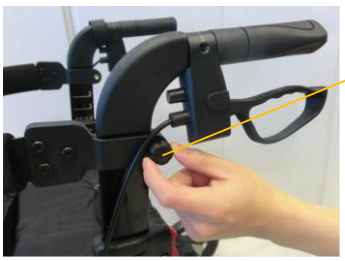


旧：金属製　　新：樹脂製

①各部の交換方法

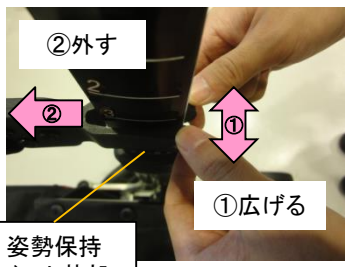
2. 姿勢保持ベルトの交換方法

1）左右の姿勢保持ベルト固定ノブボルトを外します。



交換部品：4. 姿勢保持ベルト固定ノブボルト

2）姿勢保持ベルト基部のスリットを広げ、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを外します。

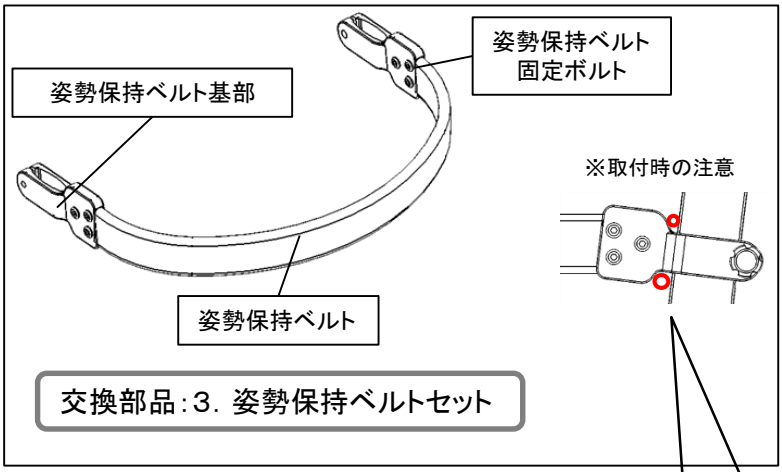


☞ スリットに指を挟まないよう注意してください。

☞ ハンドルポストを傷つけないよう注意してください。

3）姿勢保持ベルト基部のボルトを4mmの六角レンチ2本を使って片側のみ外し、外した側から姿勢保持ベルトカバーを引き抜きます。

六角レンチ
4mm×2本



交換部品：3. 姿勢保持ベルトセット

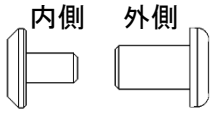
4）姿勢保持ベルトカバーを姿勢保持ベルトに差し込みます。

交換部品：2. 姿勢保持ベルトカバー

5）逆の手順で姿勢保持ベルトを取り付けます。

☞ 姿勢保持ベルト固定ボルトの締め付けトルクは2N・m（20kgf・cm）です。

☞ 姿勢保持ベルト固定ボルトは雄ネジが内側です。（右図参照）

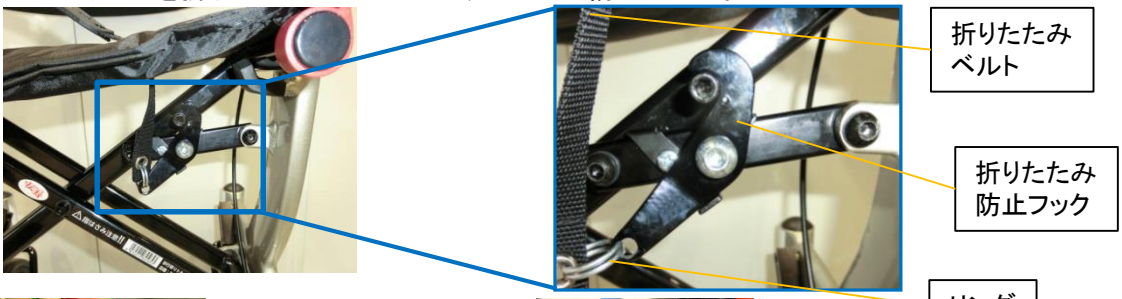


①各部の交換方法

3. 座面の交換方法

1）リングを折りたたみ防止フックから外し、
続いて折りたたみベルトからリングを外します。
※リングを折りたたみベルトから外すだけでも構いません。

マイナスドライバー
ラジオペンチ

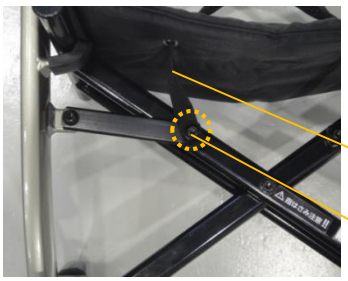


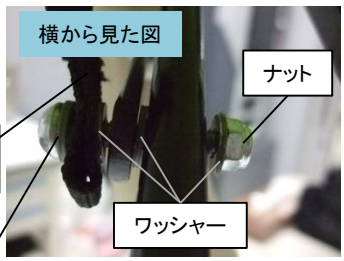
①マイナスドライバーで
リングを広げる。

②ラジオペンチで
リングを回して外す。

2）折りたたみベルトを固定しているボルトを外します。

六角レンチ5mm
スパナ10mm





☞ ボルトを締める時は、締めつけ過ぎて折りたたみ動作に支障がでないよう、また、締め付けが甘くボルトが外れたりしないよう 注意してください。

3）座面から折りたたみベルトを引き抜きます。

交換部品：8. 折りたたみベルト

☞ ボルトを再度取り付ける時は、ワッシャーの位置に注意してください。

交換部品：6. 座面固定ボルト

4）座面固定ボルトを6ヶ所外し、座面を外します。

プラスドライバー
2番

交換部品：5. 座面
（H・L）

5）逆の手順で新しい座面を取り付けます。

☞ 座面を取り付ける時は座面の前後の向きに注意してください。

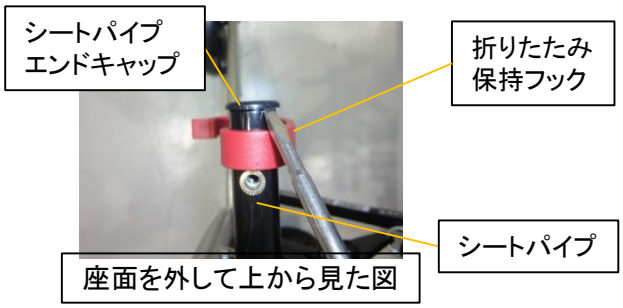
①各部の交換方法

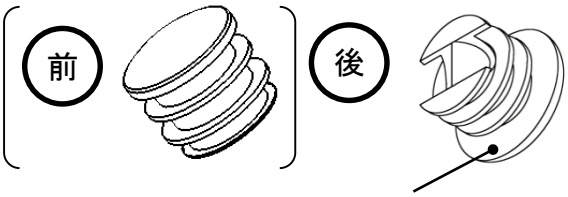
3. 座面の交換方法(その他の座面まわり).

■折りたたみ保持フックの交換方法

マイナスドライバー

1)シートパイプエンドキャップ(後)を外します。





※この部分の径がシートパイプに差しこむ部分よりも
4mm程度大きいものが後のキャップです。

交換部品:10. シートパイプエンドキャップ
(前×2、後×2)

※交換部品は前後セットになります。

2)折りたたみ保持フックをシートパイプから引き抜きます。

3)新しい折りたたみ保持フックを取り付けて、シートパイプエンドキャップを 取り付けます。

☞ シートパイプエンドキャップには前と後の2種類があります。
前後の取り付けを間違えないよう注意してください。(上図参照)

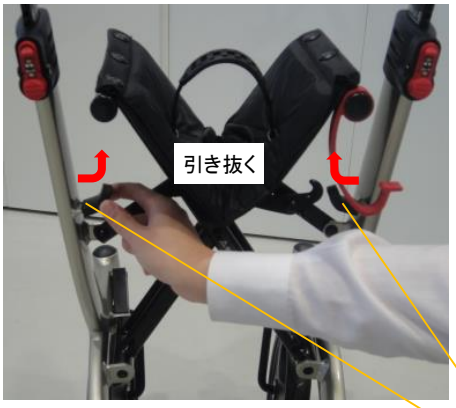
☞ 折りたたみ保持フックの取り付け向きに
注意してください

交換部品:9. 折りたたみ保持フック

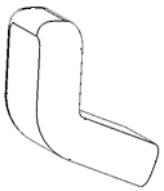
■座面受けカバーの交換方法

1)本体を軽く折りたたみます。

2)座面受けカバーを引き抜き、交換します。



☞ 座面受けカバーを取り付けないと、ガタつきが生じます。



交換部品:7. 座面受けカバー

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法

A. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブの交換方法

1)ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットのボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。

六角レンチ4mm
ラジオペンチ

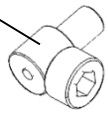
①ラジオペンチで
ブレーキワイヤー端部
キャップを外す。

②六角レンチで
ブレーキ固定
ソケットを外す。

ブレーキワイヤー
端部キャップ

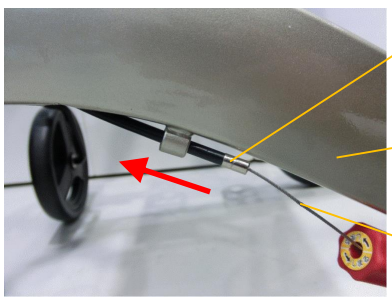
交換部品:20. ブレーキワイヤー
端部キャップ

ブレーキ
固定ソケット



交換部品:26. ブレーキ固定ソケットセット

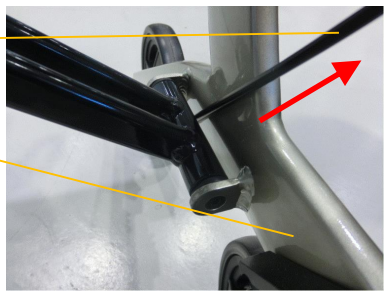
2)フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。



ブレーキワイヤー
チューブ

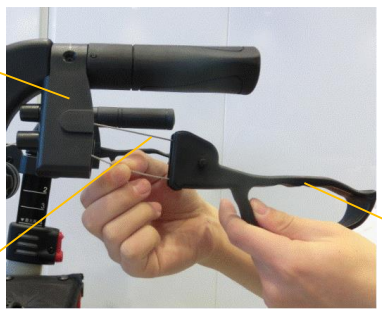
フレーム

ブレーキワイヤー



3)ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーから
ブレーキワイヤーを引き抜きます。

ブレーキ基部



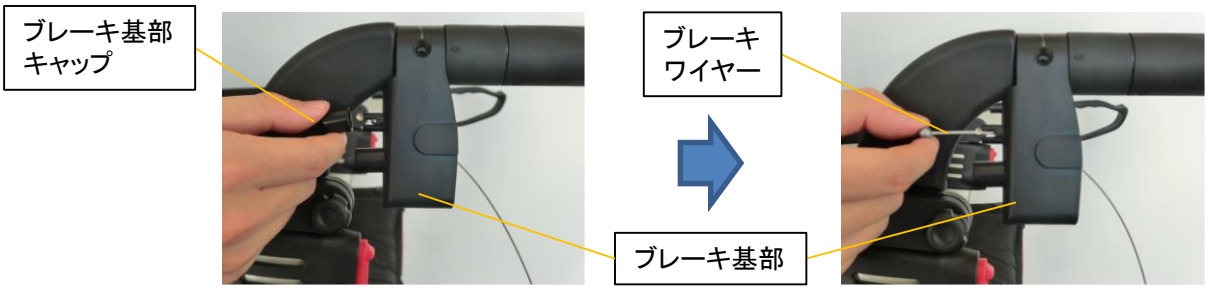
ブレーキレバー

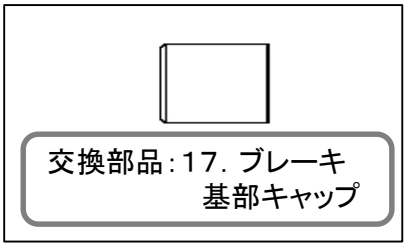
ブレーキワイヤー

①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

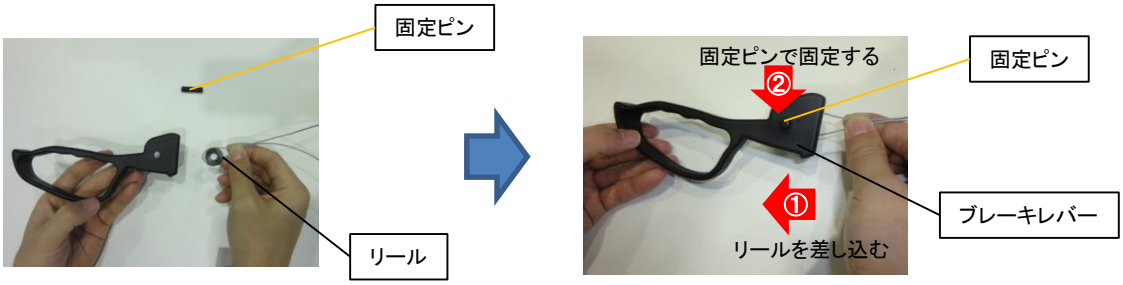
4）ブレーキ基部キャップをブレーキ基部から外し、ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。

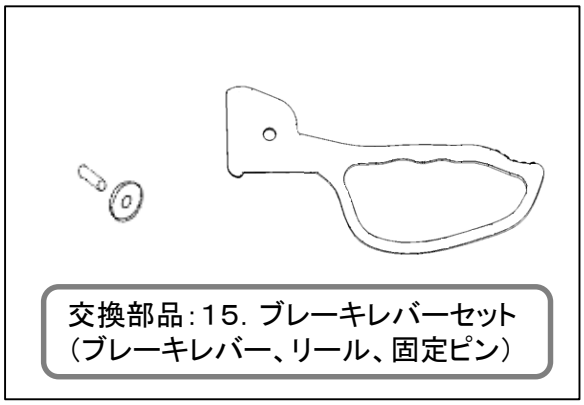




5）新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴（上側）に通し、ブレーキ基部キャップをブレーキ基部に取り付けます。（4. A. 4の逆手順）

6）ブレーキレバーから固定ピンを抜き、リールをはずします。ブレーキワイヤーを外したリールに沿わせ、ブレーキレバーに差し込み、固定ピンでブレーキレバーに固定します。

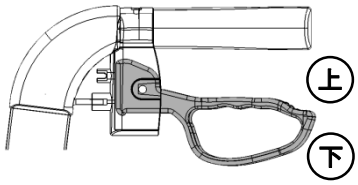




①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

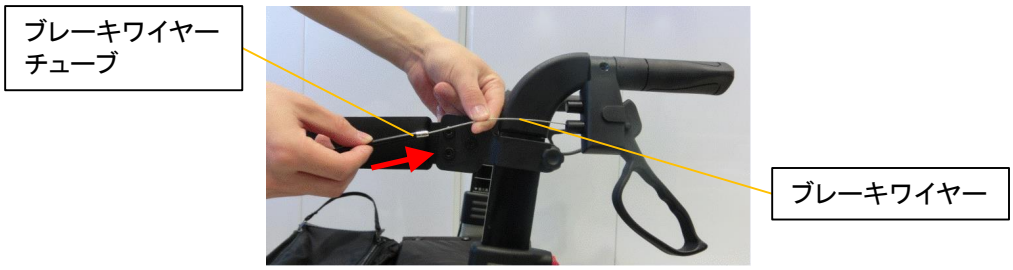
7）ブレーキワイヤーをブレーキ基部の穴（下側）に通します。（4. A. 3の逆手順）



☞ ブレーキレバーの向きに注意してください。

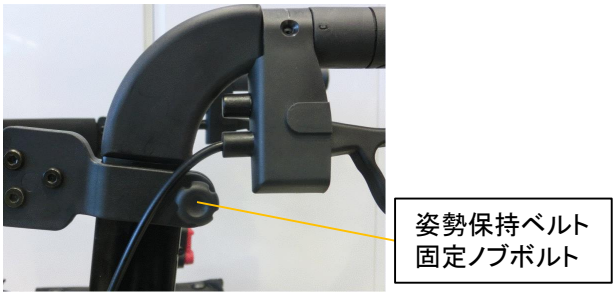
☞ ブレーキワイヤーが交差したり、リールに噛んだりしないよう注意してください。

8）ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーチューブに通します。

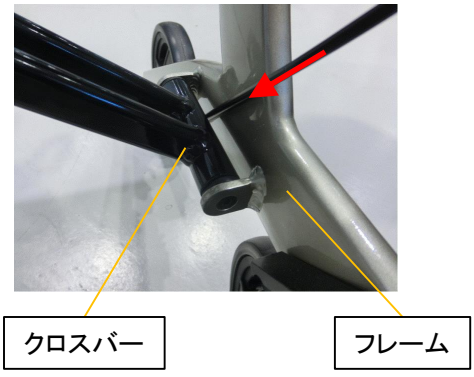


9）ブレーキワイヤーチューブをフレームに通します。

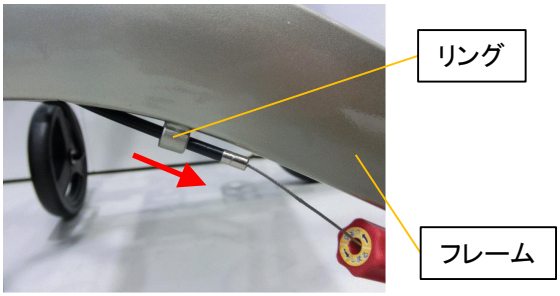
①姿勢保持ベルト固定ノブボルトの上側



②クロスバー下部とフレームの間



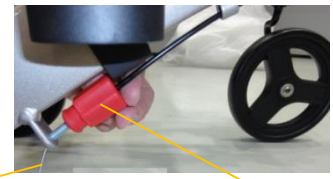
③フレーム下部のリング

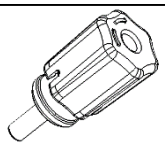


①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

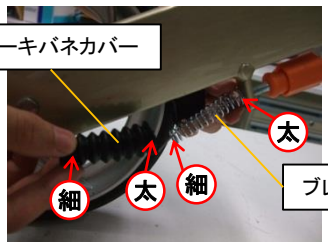
10）ブレーキワイヤーをブレーキ調節ネジに通します。



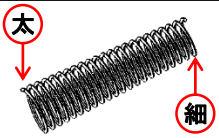


交換部品：23. ブレーキ調節ネジ

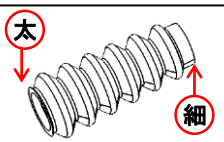
11）ブレーキワイヤーをブレーキバネに通し、ブレーキバネカバーを取り付けます。



☞ ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチで
ワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

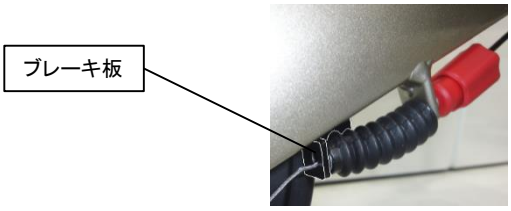


交換部品：24. ブレーキバネ



交換部品：25. ブレーキバネカバー

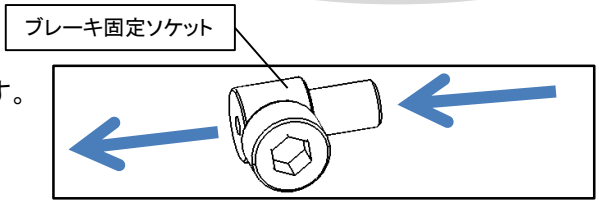
12）ブレーキワイヤーをブレーキ板に通します。



☞ ワイヤーが通りにくい時は、ラジオペンチで
ワイヤーをはさみ、引っ張ってください。

13）ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケットに通し、
締めつけて固定します。（4. A. 1の逆手順）

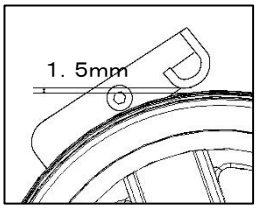
ラジオペンチ
六角レンチ4mm



☞ ブレーキ固定ソケットの細い側からワイヤーを通します。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーを
ペンチなどで引っ張り、ブレーキ板とタイヤの間隔が
1. 5mmになるようにしてブレーキ固定ソケットを
締めつけてください。

☞ ブレーキ固定ソケットの締め付けトルクは
2N・m（20kgf・cm）です。



14）ブレーキワイヤー端部キャップを取り付け
外れないようにカシメます。

ワイヤーカシメ工具
（ワイヤーカッターなど）

交換部品：20. ブレーキワイヤー端部キャップ

①各部の交換方法

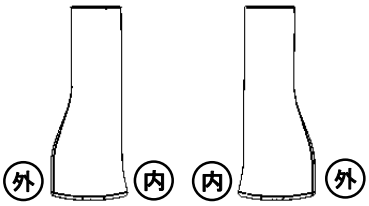
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

B. ハンドルグリップ、ブレーキ基部、ハンドル基部の交換方法

1）ハンドルグリップを引き抜きます。

ハンドルグリップが抜けにくい時は、
ドライヤーなどで数分温めると抜けやすくなります。

交換部品：14. ハンドルグリップ
（反射板含む）



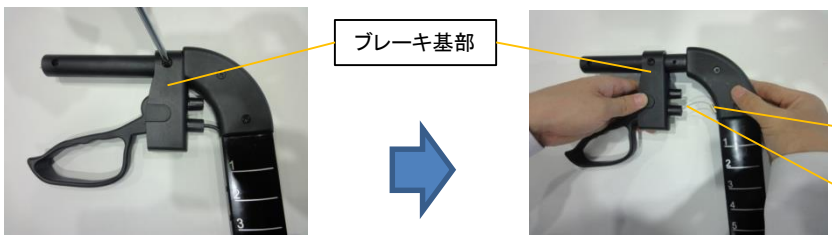
以下、ブレーキ基部、ハンドル基部を交換する場合

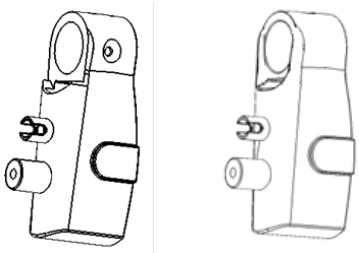
六角レンチ4mm
ラジオペンチ

2）ブレーキワイヤー端部キャップを外し、ブレーキ固定ソケットの
ボルトを緩めてブレーキワイヤーを引き抜きます。
フレームからブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを引き抜きます。
ブレーキレバーをブレーキ基部から引き抜き、ブレーキレバーから
ブレーキワイヤーを引き抜きます。　（4. A. 1～3と同じ作業）

プラスドライバー
2番

3）ブレーキ基部のネジを外し、ブレーキ基部を取り外します。





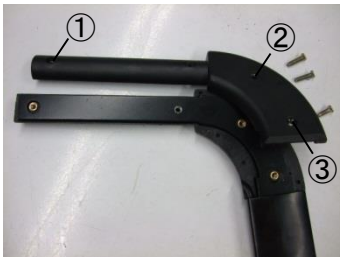
交換部品：16. ブレーキ基部
（左右セット）

①各部の交換方法

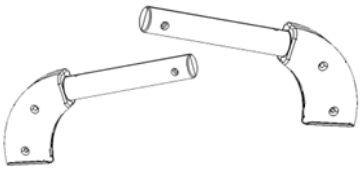
4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

4）ハンドル基部にある左右各3ヶ所のネジ（①～③）を外し、ハンドル基部を外します。

プラスドライバー
2番



交換部品：12. ハンドル基部固定
ネジセット（長×2、短×4）



交換部品：11. ハンドル基部
（左右セット）

5）ハンドル基部をハンドルポストに取り付け、ハンドル基部固定ネジで固定します。

プラスドライバー
2番

ハンドル基部の内側・外側の見分けかた
●内側 → 貫通孔が開いています
●外側 → 内部に雌ネジが埋まっています

長・・・ハンドル基部固定ネジ（長）

短・・・ハンドル基部固定ネジ（短）

6）ブレーキ基部をハンドル基部に差し込み、ネジ固定します。

プラスドライバー
2番

ブレーキ基部はネジ穴が内側となるように固定してください。

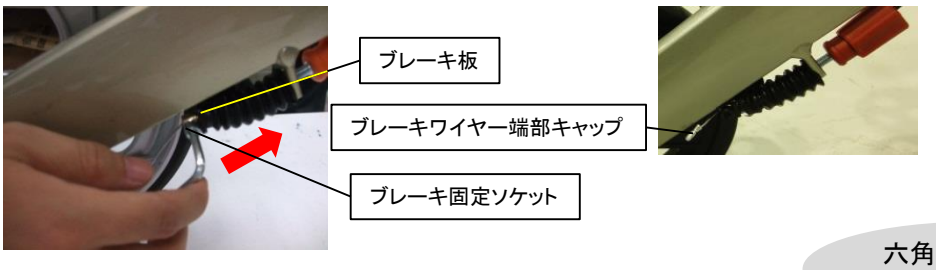
7）ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーチューブを新しいものに交換します。
（4. A. 7～14と同じ作業）

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

C. ブレーキ板の交換方法

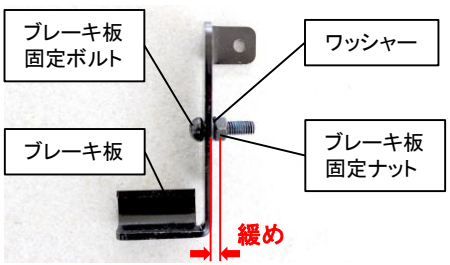
六角レンチ4mm
ラジオペンチ

1）ブレーキワイヤー端部キャップを外し
ブレーキ固定ソケットを緩めて
ブレーキワイヤーをブレーキ固定ソケット、ブレーキ板から引き抜きます。



六角レンチ4mm
スパナ10mm

2）ブレーキ板固定ナットを緩め、ブレーキ板固定ボルトを外してブレーキ板を交換します。



3）上図（左）のようにブレーキ板固定ナットを緩めに取り付けた状態で本体に取り付けます。
（※後輪との干渉を避けて取り付けるため）

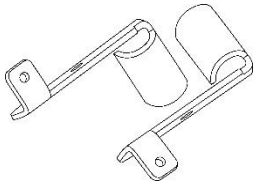
4）ブレーキ板固定ボルトを締めつけ、回らなくなったらブレーキ板固定ナットを締めつけて
ブレーキ板が回動可能な範囲内でガタつきをできるだけ小さくします。

5）再度ブレーキ板固定ボルトを締めつけます。

6）1の逆手順でブレーキワイヤーを取り付けます。

☞ ブレーキ板を指で押さえながら、ブレーキワイヤーをペンチなどで引っ張り、ブレーキ板と
タイヤの間隔が1．5mmになるようにブレーキ固定ソケットを締めつけてください。

交換部品：22．ブレーキ板固定
ボルトセット（ボルト・ナット・ワッシャー）



交換部品：21．ブレーキ板（左右セット）

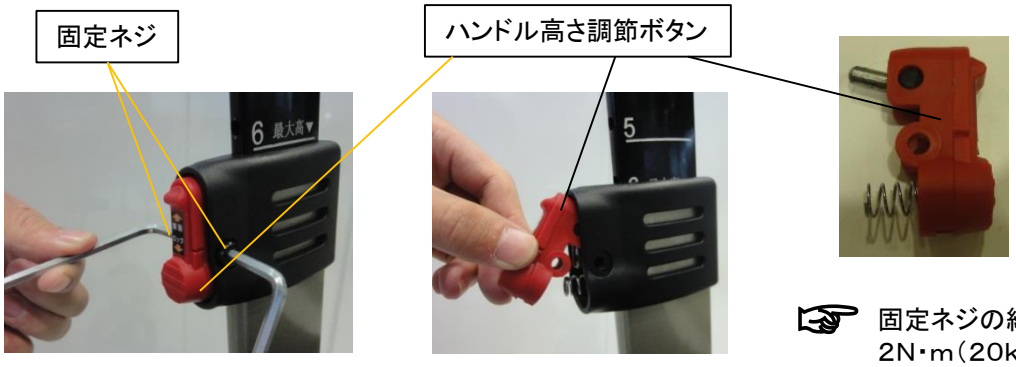
①各部の交換方法

4. ハンドル部、ブレーキ部の交換方法（つづき）

D. ハンドルポスト受けの交換方法

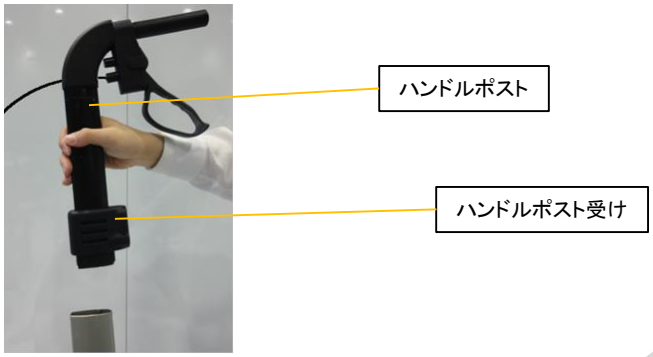
1）ハンドル高さ調節ボタンの固定ネジを外して
ハンドル高さ調節ボタンを外します。

六角レンチ4mm
×2本



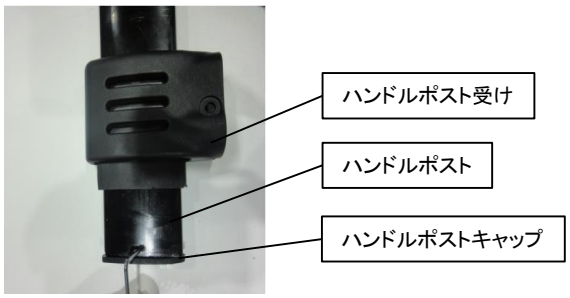
☞ 固定ネジの締め付けトルクは
2N・m（20kgf・cm）です。

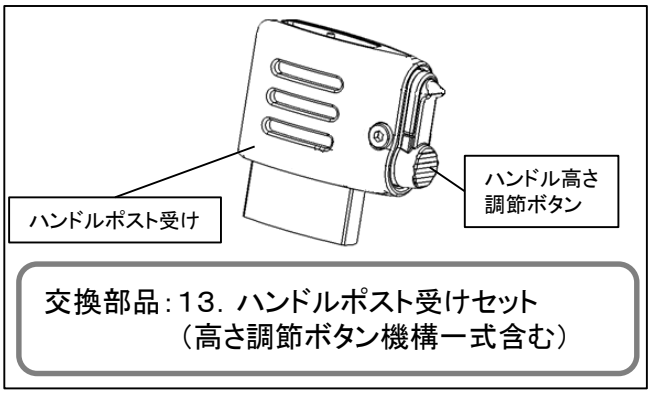
2）ハンドルポスト、ハンドルポスト受けをフレームから引き抜きます。



六角レンチ2mm

3）ハンドルポストキャップのイモネジを両側とも外し
ハンドルポストキャップを取り外します。





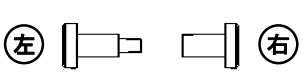
交換部品：13. ハンドルポスト受けセット
（高さ調節ボタン機構一式含む）

4）ハンドルポストから
ハンドルポスト受けを引き抜きます。

5）逆の手順でハンドルポストをフレームに取り付けます。

☞ ハンドル高さ調節ボタンの固定ピンがしっかりとハンドルポストに挿入されていることを確認してください。

☞ ハンドル高さ調節ボタンの固定ネジは雄ネジが後ろから見た時の左側です。（下図参照）



①各部の交換方法

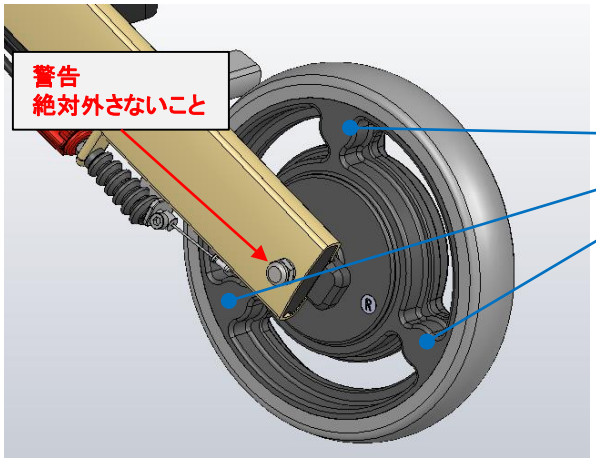
5. 抑速付後輪部の交換方法

A. タイヤの交換方法

六角レンチ5mm

1）抑速付後輪が歩行車本体に取り付けられた状態で
ホイールを固定している「M8皿ボルト（3本）」を緩めて、
外します。

警告
抑速付後輪が歩行車本体から外れた状態で絶対にM8皿ボルトを外さないこと。
抑速機構が分解されてしまいます。（※復元できません）



交換部品：52. LT抑速付
M8皿ボルトセット

2）ホイール外側とタイヤを外します。

タイヤを外す

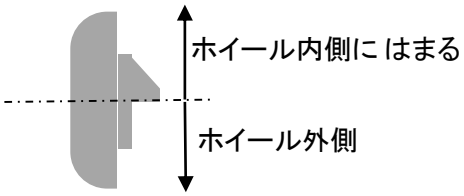
1）でM8皿ボルトを外した後、タイヤとホイール（外側）
の間にﾏｲﾅｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｰを差し込んで ホイール（外側）
を外す。

交換部品：50. LT抑速付
交換タイヤキット

①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

3）タイヤをホイール（内側）へ嵌め込みます。
この時、ホイールの溝（3か所）にタイヤの突起を合わせてください。
タイヤの突起には方向性があり、逆方向だとホイール（内側）に はまり込みません。



タイヤ突起部　断面図

タイヤをホイールに はめこむ

タイヤの向きが正しいと
突起がホイール（内側）に
完全に はまりこむ

タイヤの向きが逆だと
突起がホイール（内側）に
はまらない

4）ホイール（外側）を嵌め込み、M8皿ボルトで止めます。
この時、ホイール（内側）と（外側）のボルト穴の位置を確実に合わせて固定してください。

☞ ホイールを固定するM8皿ボルトには緩み止めのため接着剤が塗布されています。
タイヤを交換したら、必ず新しいM8皿ボルトを使用してください。
締め付けるとき、規定トルク 6±10% N･mで締め付けてください。

タイヤ×2
M8皿ボルト×6

×2

交換部品：50.
LT抑速付交換タイヤキット1台分

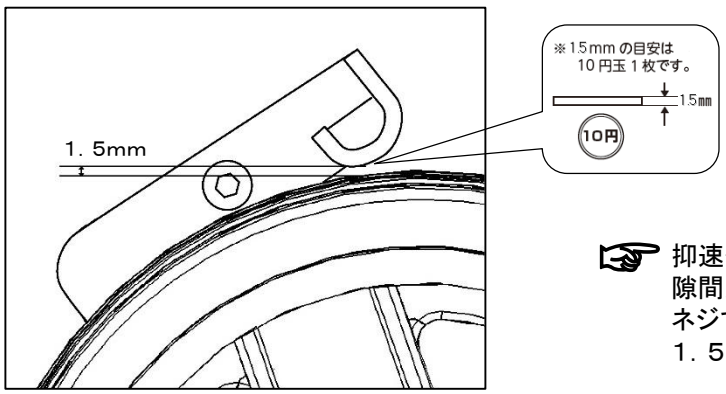
M8皿ボルト×3

交換部品：52.
LT抑速付M8皿ボルトセット

①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法(つづき)

5)ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。(24ページ参照)



☞ 抑速付後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

B. センターキャップの交換方法

1)センターキャップ側面の切り欠きにマイナスドライバーを差し込んでセンターキャップを外します。

マイナスドライバー

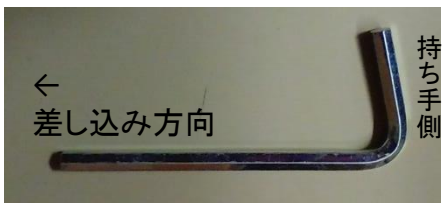
交換部品:51．LT抑速付
センターキャップ

C. 付属の抑速ブレーキカ調整用六角レンチについて

1)抑速ブレーキカを調整するときは付属の「抑速ブレーキカ調整用六角レンチ」を使用してください。

☞ 抑速ブレーキカの調整方法は取扱説明書の18ページに記載されています。

☞ 抑速ブレーキカの工場出荷時設定は『強』です。



交換部品:53．抑速ブレーキカ
調整用六角レンチ

☞ このレンチは折り曲げ角度を90度より大きくすることで、長い方しか差し込めなくしています。これにより調整部に過度な力が掛かることを防止するものです。

①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

D. 抑速付後輪の交換方法

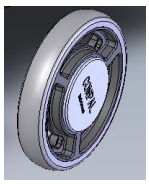
☞ **M6タイプとM8タイプで取付部品が異なります。**
判別方法は4ページの「部品判別方法」をご確認の上、各タイプでの部品交換をお願いします。

M6タイプの交換方法

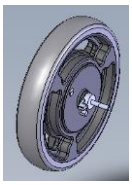
1）抑速付後輪を固定しているｽﾍﾟｰｻｰ付きﾅｯﾄを緩め、
抑速付後輪を取り外して交換します。

ソケットレンチ13mm

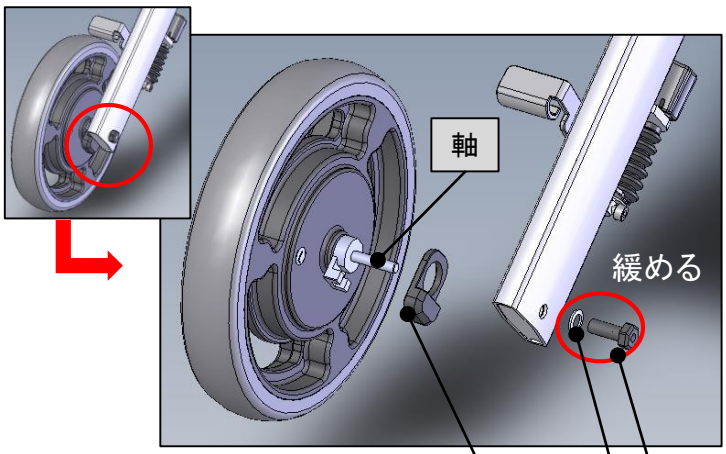
交換部品：48.
LT抑速付（M6）抑速ユニット左右セット



抑速付後輪
右用



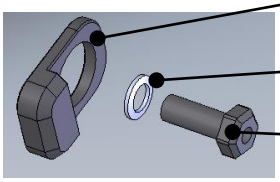
抑速付後輪
左用



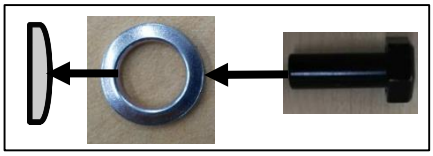
交換部品：49.
LT抑速付（M6）接続ジョイントセット
1台分

ﾊﾞｯｸﾞ積載量5kg注意シール
⚠バッグ積載5kg未満!! 13mm×50mm

＋

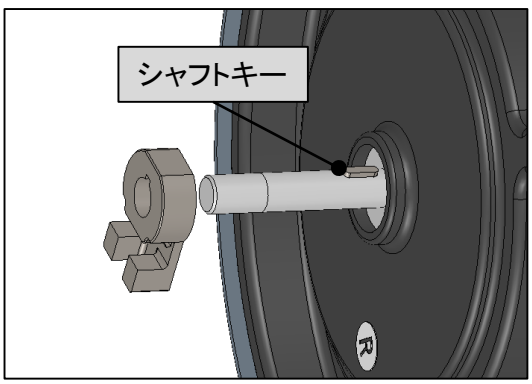


☞ ばね座金は、膨らんでいる側からﾎﾞﾙﾄを挿入してください。一度締めつけたばね座金は変形している可能性があるので再度使用しないでください。



☞ **ばね座金は必ず取り付けてください。**
外れ、破損する原因となります。

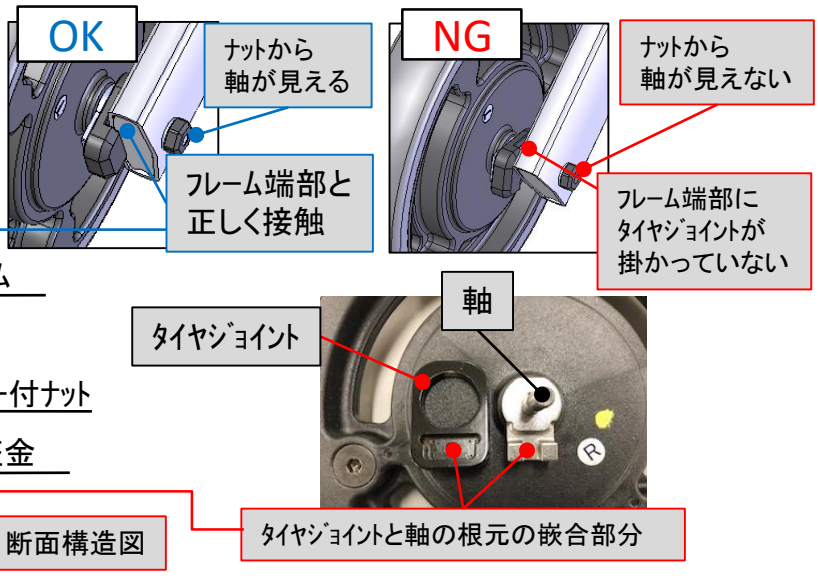
☞ **抑速付後輪を取り付ける前にシャフトキーが付いていることを確認してください。**



交換部品：56.
LT抑速付抑速付ユニットシャフトキー

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

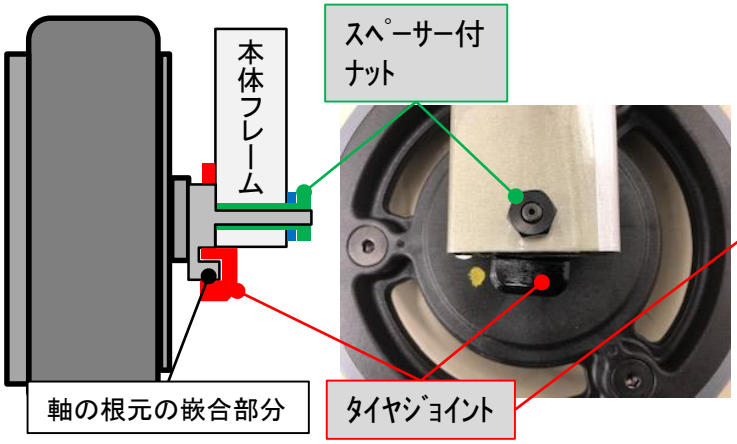
タイヤジョイントとフレーム端部は右図を参考に正しく接触させてください。正しく組み付け出来ればｽﾍﾟｰｻｰ付きﾅｯﾄから抑速付後輪の軸の先端が僅かに出ますので目安にしてください。

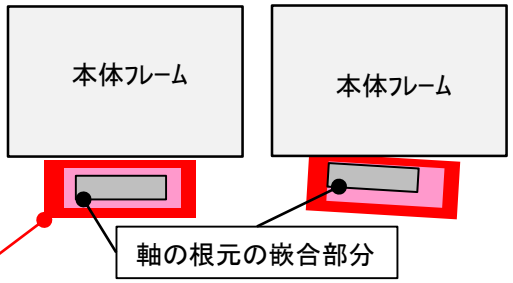


M6タイプの抑速付後輪の締め付けトルクは10N・m（約102kgf・cm）です。
M8タイプの締め付けトルクと異なりますのでご注意ください。

軸とナットが供回りし、指定の締め付けトルクに達しない場合、ユニットシャフトキーが外れている可能性があります。指定トルクに達しない場合は、再度分解して頂き、シャフトキーが正しく取り付けられているか確認してください。

ｽﾍﾟｰｻｰ付ナットを締め込む際、ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄと軸の根元の嵌合状況によってﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄと本体ﾌﾚｰﾑとの隙間の範囲でﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄが動く場合・・・①　と　動かない場合・・・②　がありますが、抑速機能を阻害するものではありませんので安心してご使用ください。

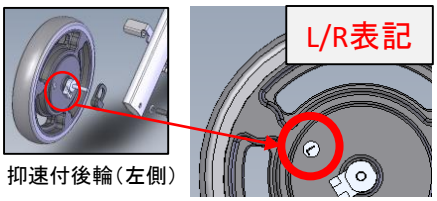




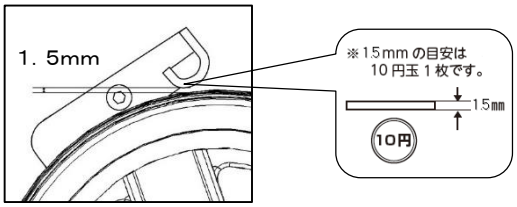
①本体と接触していない場合・・・隙間の範囲で動く場合あり。

②本体と接触している場合・・・ﾀｲﾔｼﾞｮｲﾝﾄは動かない。

抑速付後輪には取り付け方向がありますので抑速付後輪内側のL/R表記を確認して取り付けてください。
Rの場合：歩行車後方から見て“右”に取り付けてください。
Lの場合：歩行車後方から見て“左”に取り付けてください。



2）ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。（28ページ参照）



抑速付後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

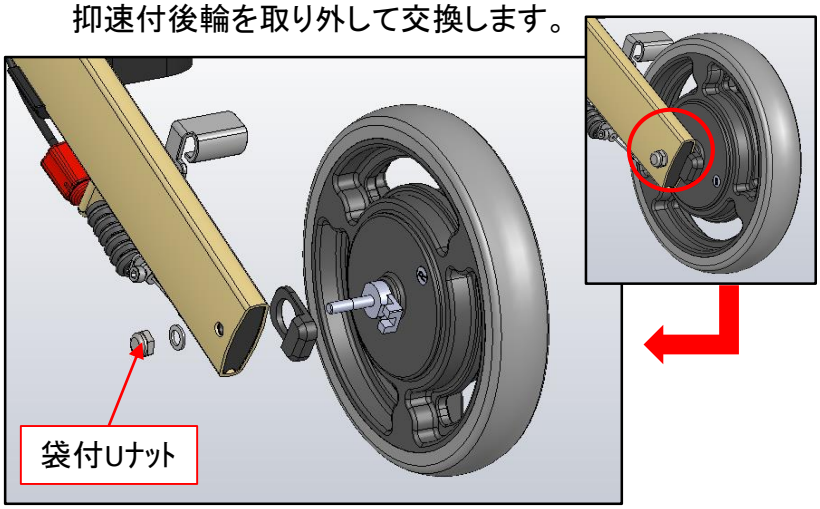
D. 抑速付後輪の交換方法

☞ **M6タイプとM8タイプで取付部品が異なります。**
判別方法は4ページの「部品判別方法」をご確認の上、各タイプでの部品交換をお願いします。

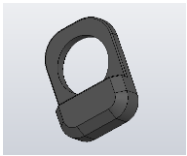
M8タイプの交換方法

1）抑速付後輪を固定している袋付Uナットを緩め、
抑速付後輪を取り外して交換します。

ソケットレンチ13mm



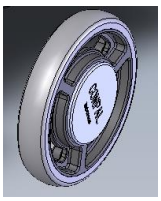
交換部品：55.
LT抑速付（M8）
タイヤジョイントセット



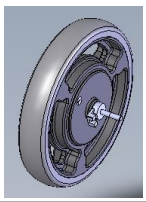
タイヤｼﾞｮｲﾝﾄ
×2

⚠バッグ積載5kg未満!!　13mm×50mm
ﾊﾞｯｸﾞ積載量5kg注意ｼｰﾙ

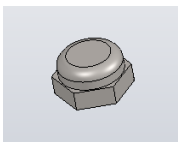
交換部品：54.
LT抑速付（M8）
抑速ユニット左右セット



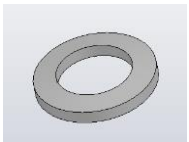
抑速付後輪
右用



抑速付後輪
左用



袋付Uﾅｯﾄ
×2

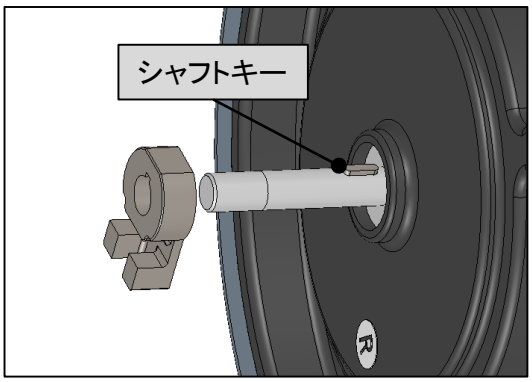


平座金×2

☞ **平座金は必ず取り付けてください。**
外れ、破損する原因となります。

☞ **抑速付後輪を取り付ける前にシャフトキーが付いていることを確認してください。**

☞ **車軸のネジ部は取付前に脱脂洗浄をしてください。**

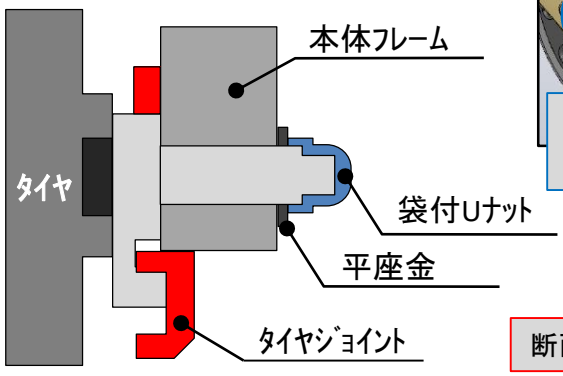


交換部品：56.
LT抑速付抑速付ユニットシャフトキー

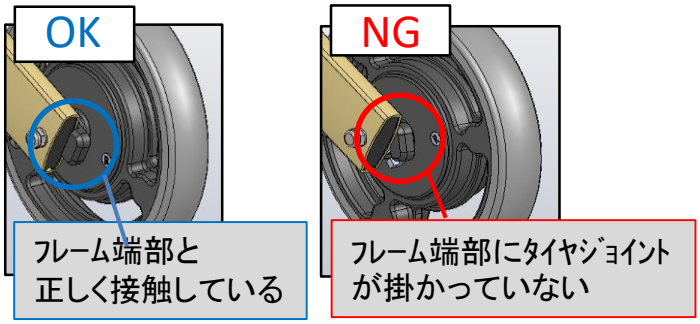
①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

タイヤジョイントとフレーム端部は右図を参考に正しく接触させてください。



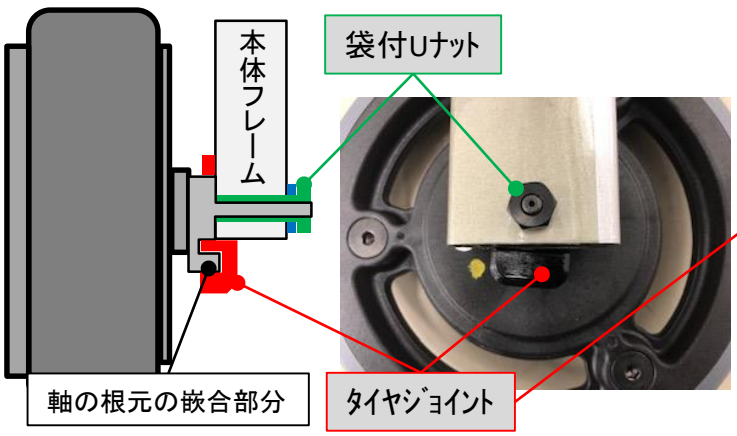
断面構造図

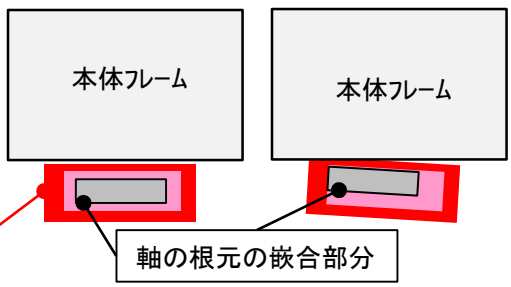


M8タイプの抑速付後輪の締め付けトルクは15N・m（約153kgf・cm）です。
M6タイプの締め付けトルクと異なりますのでご注意ください。

軸とナットが供回りし、指定の締め付けトルクに達しない場合、ユニットシャフトキーが外れている可能性があります。指定トルクに達しない場合は、再度分解して頂き、シャフトキーが正しく取り付けられているか確認してください。

袋付Uナットを締め込む際、タイヤジョイントと軸の根元の嵌合状況によってタイヤジョイントと本体フレームとの隙間の範囲でタイヤジョイントが動く場合・・・① と 動かない場合・・・② がありますが、抑速機能を阻害するものではありませんので安心してご使用ください。

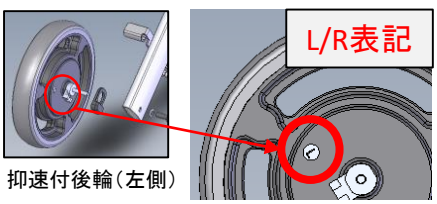




①本体と接触していない場合・・・隙間の範囲で動く場合あり。

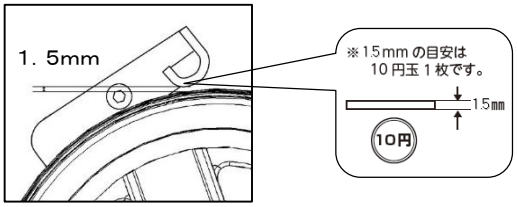
②本体と接触している場合・・・タイヤジョイントは動かない。

抑速付後輪には取り付け方向がありますので抑速付後輪内側のL/R表記を確認して取り付けてください。
Rの場合：歩行車後方から見て“右”に取り付けてください。
Lの場合：歩行車後方から見て“左”に取り付けてください。



抑速付後輪（左側）

2）ブレーキ板とタイヤの隙間を1．5mmに調節し、ブレーキが正しく作動することを確認してください。（28ページ参照）



抑速付後輪交換後にブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるようにブレーキ調節ネジで調節してください。
1．5mmの目安＝10円玉の厚み

①各部の交換方法

5. 抑速付後輪部の交換方法（つづき）

E,リトルターン（ハイタイプ）を抑速付にする場合

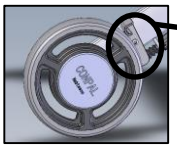
1）交換可能な仕様であるかご確認ください。

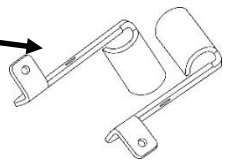
対象：2018年5月以降に製造されたリトルターンハイタイプ

リトルターン（ロータイプ、トール103タイプ）を抑速付にすることはご遠慮ください。
交換可能な本体以外に取り付けると予期せぬ事故につながるおそれがあります。

☞ ・抑速付としてご使用される場合、バッグの載荷重は5kg未満となります。
5kgを超えると抑速ブレーキが十分に発揮されません。

☞ ・製造ロットは以下の手順でご確認ください。
交換可能対象品の外観的な特徴はブレーキ板の形状が半円形状であることです。


適用するブレーキ形状


半円形状のブレーキ板

クロスバー　右下側

製造ロットの確認方法

例 ロットNo. 47202492 の場合、17年10月製造です

西暦末尾2桁＋30=47 ⇒2017年

月数＋10=20 ⇒10月

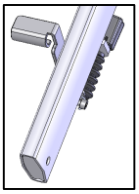
2）取付できる抑速タイヤの仕様をご確認ください。

☞ **M6タイプとM8タイプで取付部品が異なります。**
判別方法は4ページの「部品判別方法」をご確認の上、各タイプでの部品交換をお願いします。

3）リトルターン（ハイタイプ）の本体より、後輪を取り外します。

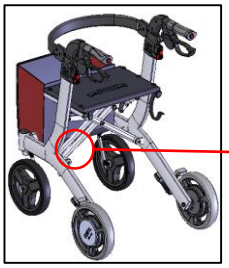
マイナスドライバー
ソケットレンチ13
六角レンチ5mm

後輪キャップを外します。


後輪固定ナットを緩め、後輪を取り外します。

4）前述5.-D.に沿って、交換部品を用意し、
抑速付後輪を取り付け、ブレーキの隙間を調整します。

5）交換部品49に同梱されているバッグ積載量5kg注意シールを
クロスバー左下に貼り付けます。

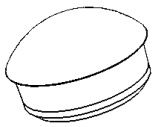


①各部の交換方法

6. 前輪の交換方法

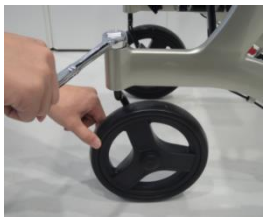
1）前輪フォークキャップを外します。

マイナスドライバー



交換部品：32. 前輪フォークキャップ

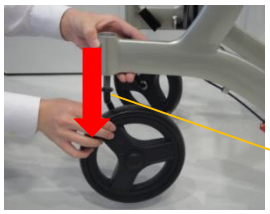
2）前輪フォーク固定ナットを緩め、前輪フォークから取り外します。



ソケットレンチ19mm

☞ 前輪フォーク固定ナットを締める時は、前輪が共回りしないよう手で押さえてください。

3）前輪フォークをフレームから引き抜きます。



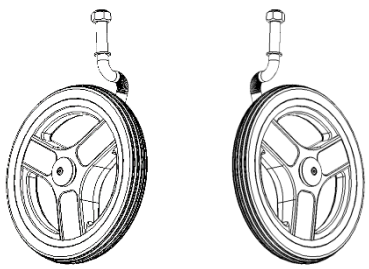
☞ 前輪フォークにベアリングがついた状態で抜けた場合はベアリングをフレームに戻してください。

4）前輪セットを取り付け前輪フォーク固定ナットを締め、前輪フォークキャップをはめ込みます。

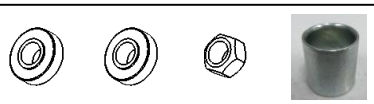
☞ 前輪を取り付ける時は、前輪セットに付属される新しい前輪フォーク固定ナットを必ずご利用ください。

☞ ベアリングを交換する時は、前輪フォークベアリングセットに付属される新しい前輪フォーク固定ナットを必ずご利用ください。

☞ 前輪フォーク固定ナットの締め付けトルクは7N・m（約71kgf・cm）です。
締め付けトルクは目安になります。部品の製造ﾊﾞﾗﾂｷによって締め付けた後に前輪が回転しにくい場合はﾅｯﾄの締め込みを調整してください。

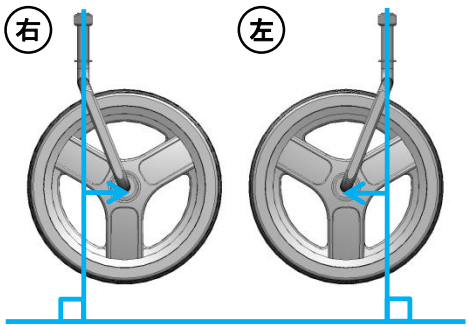


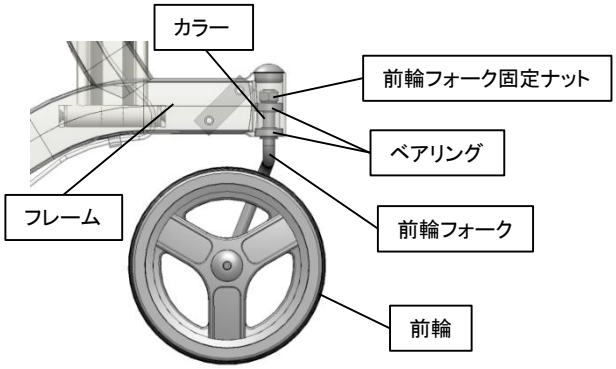
交換部品：29　前輪セット（右）
交換部品：30　前輪セット（左）
（ホイール・タイヤ・ベアリング×2・前輪フォーク・前輪カシメワッシャー・前輪キャップ・前輪キャップ固定ネジ・前輪フォーク固定ナット）



交換部品：31. 前輪フォークベアリングセット（ベアリング×2・カラー・前輪フォーク固定ナット）

前輪左右の見分け方

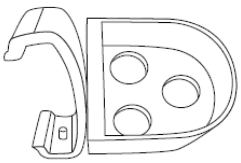




①各部の交換方法

7. 杖ホルダーの交換方法

1）杖ホルダー固定部の下側から、スリット部を開くようにして取り外し
新しいものと交換します。



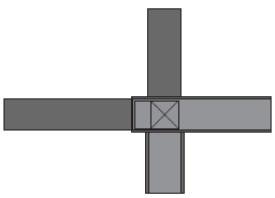
交換部品：33. 杖ホルダー

2）杖ホルダーの取付位置を左右を入れ替える場合は
ボルトを緩め、杖ホルダーを回転させて、角度を
合わせた上で、取り付けます。

六角レンチ3mm

8. 杖固定ベルトの交換方法

1）杖固定ベルトをフレームから取り外し新しいものと交換します。



交換部品：34. 杖固定ベルト

②フレームの補修方法

1）塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。

2）塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。

3）タッチペンまたはスプレーで塗装します。

☞ 塗料の一部が沈殿していることがあります。その場合はタッチペンの容器を振って塗料をよく混ぜ合わせてからご使用ください。

☞ 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

☞ 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

☞ 火気には十分に注意してください。

補修部品：42. 補修用スプレー
43. 補修用ペイント（タッチペン）
57. 補修用スプレーR
58. 補修用ペイントR（タッチペン）

③交換後の点検

■ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。

■ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。

■ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。

■車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。

■折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。

■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

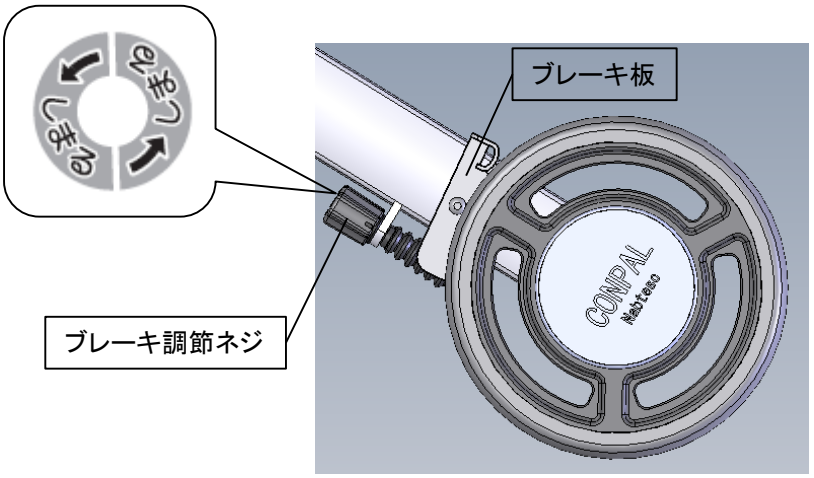
■抑速ブレーキの効きが正常であることを確認してください。

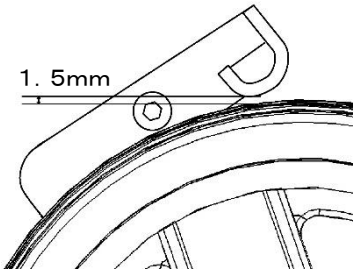
☞ 点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

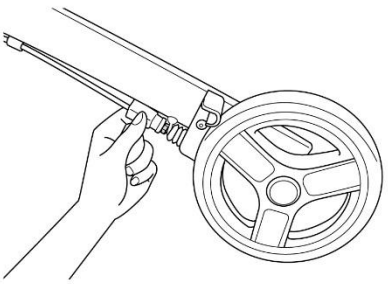
④ブレーキの調整方法

ブレーキがききにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

1. ブレーキ調節ネジのシールの表記に従って、矢印の方向にブレーキ調節ネジを回します。







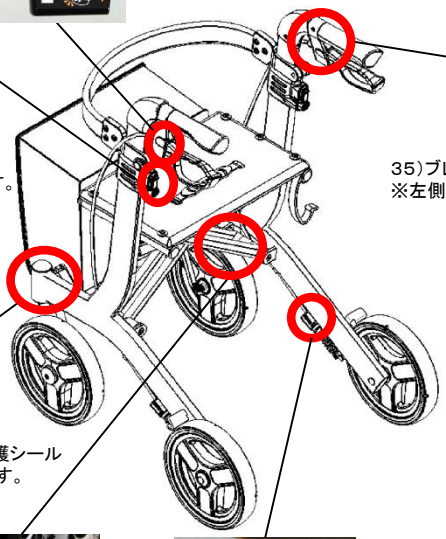
2. ブレーキ板とタイヤの隙間が1．5mmになるように
調節してください。隙間が小さくなりすぎてしまった場合は、
ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。

⑤シールの貼付位置

41）ブレーキ指はさみ注意シール
※右側の同じ位置にもあります。

40）高さ調節解除シール
※右側の同じ位置にもあります。

35）ブレーキ・駐車ロックシール
※左側の同じ位置にもあります。



38）（LT・ST）フレーム前方保護シール
※右側の同じ位置にもあります。

37）指はさみ注意シール

36）ブレーキ調節表示シール
※左側の同じ位置にもあります。

交換部品：35
ブレーキ・駐車ロック
シール

交換部品：36
ブレーキ調節表示
シール

交換部品：37
指はさみ注意シール

交換部品：38
（LT・ST）フレーム前方
保護シール

交換部品：40
高さ調節解除シール

交換部品：41
ブレーキ指はさみ注意
シール

⚠ 注意事項

☞ 保管について

■戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
■火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
■荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
■取扱説明書は本体と一緒に保管すること

☞ お手入れについて

■車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
■次にあげるものではお手入れしないこと

・シンナー　・クレゾール　・塩素系薬剤をかけての殺菌、消毒
・磨き粉　・塩素系洗剤　・酸、アルカリ性洗剤
・タワシ　・研磨剤入りのスポンジ　・その他製品を傷つけるもの

■オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。
■抑速付後輪にグリスや油、油性クリーナーや石鹸水は使用しないこと。
■注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板、抑速付き後輪に油がつかないように注意すること。付着した油はよく拭き取ってください。

☞ 廃棄について

■廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室 フリーダイヤル **0120-86-7735**
（受付時間）祝祭日以外の月～金　10：00～16：00（12：00～13：00はのぞく）

・お客様からいただいたお電話は、内容確認のため、録音させていただいております。
・個人情報は適切に管理し、修理やご相談への回答などの情報提供のみに利用いたします。

製造・発売元

TOAGOSEI グループ

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階
URL https://www.aronkasei.co.jp/ 安寿 検索

24.09 919144-7